

# 地域のWWWページのディレクトリ集（コミュニティ・ナビゲータ）の構築

3G-06

古川 泰男

豊橋技術科学大学 未来技術流動研究センター

## 1. はじめに

地域の情報流通とネットワークの高度化の基盤とするために人口数十万人の地域から発信される数百のWWWページを地域の生活情報の観点から階層カテゴリ別にデータベース化し、WWWサイトとして公開した。急増する地域のページを逐次取り込み、系統的に提供することができる。

インターネットは時空を超えて膨大な情報を提供する。しかし、生活者にとって重要な地域の情報はかえって埋没し、コミュニティの喪失に拍車を駆けかねない。インターネットの家庭普及率は10%を超え、地域の個人、企業、学校、公共機関から多くのWWWページが発信されるようになった。

これまで、地域（コミュニティ）に関連するページのリンク集は、地域ごとに数多く作成され、大変有用なものとなっている。インターネット常時接続が実現される近未来には、人口数十万人が日常生活を営む地域から、数千のページが提供されることになろう。これらを有効に活用し、地域の生活者、特に家庭の主婦、高齢者、子供が情報化の恩恵を生活レベルで享受するためには、コミュニティ単位でのインターネットへの入口となるサイトが必要である。

## 2. 目標と構想

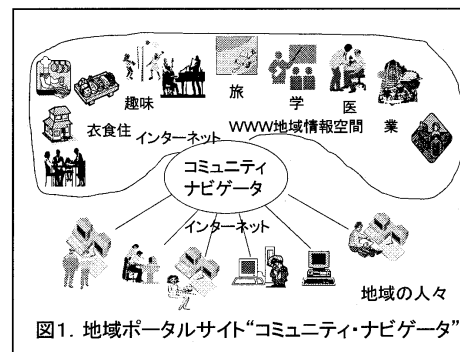
発表者が居住する人口36万人の豊橋市を例にとり、インターネットに接続された一万以上の世帯でインターネットの入り口として活用されるディレクトリ集（地域ポータルサイト“コミュニティ・ナビゲータ”）をめざす。地域から発信されるWWWページを生活シーンに応じた数階層のカテゴリに分類し、所望のページを抽出する。

豊橋地域から発信されているページはディレクトリ検索エンジンでは約200件抽出され、地域のリンク集には約300件掲載されている。新規に作成されたページを逐一容易にデータベースに取り込めるようにする。図1にコミュニティ・ナビゲータの概念図を示す。

地域の家庭がこのコミュニティ・ナビゲータを通してインターネットの世界へ出て行くならば、そのアクセス状況を計測することによって、地域のネットワーク環境やインターネットの活用状況を把握することもできるであろう。

## 3. カテゴリ

地域の生活のための情報は多岐に渡る。個々のページの内容も多様で明確に区分しにくい。豊橋地域



Construction of a WWW site for homepage directories of community (Community Navigator)

Yasuo Furukawa, Research Center for Future Technology, Toyohashi University of Technology

Hibarigaoka, Tempaku-cho, Toyohashi 441-8580, Japan, E-mail: furukawa@mirai.tut.ac.jp

から発信されている数百のページの内容を分類し、生活に必要な情報を考え、適切なカテゴリを検討した。カテゴリには以下のような区分が存在する。

- ①衣食住に関わる基本的な生活情報
- ②娯楽、趣味、教養などのより高次の生活情報
- ③社会生活や市民生活に必要な情報
- ④個人の生活とは関わりの少ない地域の企業のビジネス情報
- ⑤個人が多様な視点から発信する情報（①から③にも分類される）

企業や各種の組織が発信する情報は目的も比較的明確であり、区分しやすい。ページ数の約1/4を占める個人のページは多様で分類しにくいいため、個人のページとして区分し、明確なもののみ①から③に区分することとした。こうして、トップカテゴリ13、セカンドカテゴリ59を定めた。

#### 4. システムの構成と実現

図2にコミュニティ・ナビゲータの構成を示す。データベースにはページのタイトル、URL、ページの概要がカテゴリと関係付けられて蓄積される。クライアントのブラウザからのリクエストに応じて、Webサーバはデータベースにアクセスしてデータ群を抽出して、HTML画面情報を生成して、ブラウザに返す。ブラウザからページの登録依頼ができて、システム管理者がページの登録、更新、削除を行う。新規ページの取り込みや、閉鎖ページの廃棄は容易である。アクセス状況の計測機能を有する。

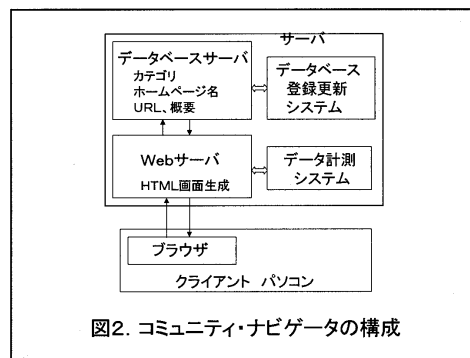


図2. コミュニティ・ナビゲータの構成

Linux OS パソコン上に Web サーバを構築した。データベースシステムには PostgreSQL を用いた。データの収集は複数の地域情報のリンク集や地域の各種のページのリンクを辿ることによって行った。各ページの内容を確認して概要を作成し、タイトルと URL をコピーした。コミュニティ・ナビゲータ [1] の紹介も兼ねて電子メールを送信して、各ページに対してリンクと概要の了解を求めた。こうして豊橋地域から発信されている約 500 のページを収容した。

#### 5. おわりに

インターネットの常時接続が実現され、様々のアイデアをネット上に実現するコンテンツが増大する。望ましい都市機能の実現のために適正規模とされる人口 30 万人ほどのコミュニティから発信されるページは、数年後には数千に達すると予想する。電話番号や住所などの統制された情報と異なり、これらは自然発生的なものである。何らかの整理体系化が必要であり、コミュニティ・ナビゲータはこのためにも有用である。

このようなコミュニティ・ナビゲータを日本全国 400 箇所ほどの同規模のコミュニティに展開することにより、全国に渡る WWW ページを体系的に蓄積し、提示することができる。地域における情報流通の活発化と地域振興に寄与することが期待できる。